

恋は盲目なのか???

# 大学生の恋愛と時間志向 の関連性



チーム女子

岡嶋、松永、矢野

# 目次

1. アンケート内容
2. 仮説
3. 分析結果
4. 結論



# 1. アンケート内容

- a. 恋人の有無
- b. 理想の恋人
- c. 現実の恋人
- d. 理想と現実の恋人の差



問1. あなたは今までに恋人がいましたか？

1. はい                      2. いいえ

問2. 次の質問について、

(1)についてはあなたの理想の恋人について、

(2)は「はい」と答えた人は現在または一番長く交際した人について、

「いいえ」と答えた人はあなたが最も好意を寄せた人について、

各項目最も当てはまると思う数直線上の位置に○をつけてください。

(例： 見た目重視 |——○——|——|——| 中身重視 )

(1)

見た目重視 |——|——|——|——| 中身重視

リードする人 |——|——|——|——| 自分に合わせてくれる人

時間に厳しい人 |——|——|——|——| 時間に寛容な人

よく喋る人 |——|——|——|——| 寡黙な人

価値観が同じ人 |——|——|——|——| 価値観が異なる人

二人の時間重視 |——|——|——|——| 一人の時間重視

経済力重視する |——|——|——|——| しない

学歴重視する |——|——|——|——| しない

(2)

見た目重視 |——|——|——|——| 中身重視

リードする人 |——|——|——|——| 自分に合わせてくれる人

時間に厳しい人 |——|——|——|——| 時間に寛容な人

よく喋る人 |——|——|——|——| 寡黙な人

価値観が同じ人 |——|——|——|——| 価値観が異なる人

二人の時間重視 |——|——|——|——| 一人の時間重視

経済力重視する |——|——|——|——| しない

学歴重視する |——|——|——|——| しない

## 2. 仮説

a. 恋人の有無

→ 現在快楽型の人々の恋人のいた率が高い

b. 理想の恋人

c. 現実の恋人

d. 理想と現実の恋人の差

→ 差は現在快楽型の人々が大きく、未来型の人々が小さい

## 3. 分析結果

### a. 恋人の有無

- ・ 分析方法

平均値の差の検定（t 検定）

- ・ 結果

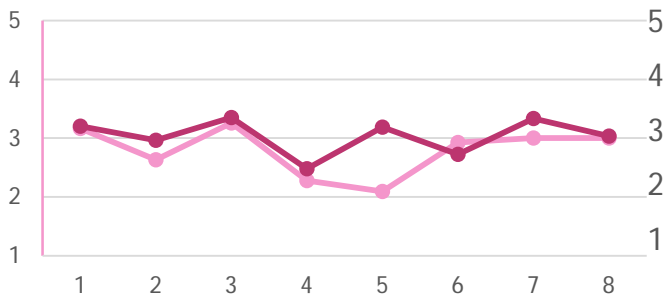
過去否定型には恋人がいたことのある人は少ない

→ 幼少期のトラウマ、信頼関係を築くのが苦手なことが関係しているのでは？

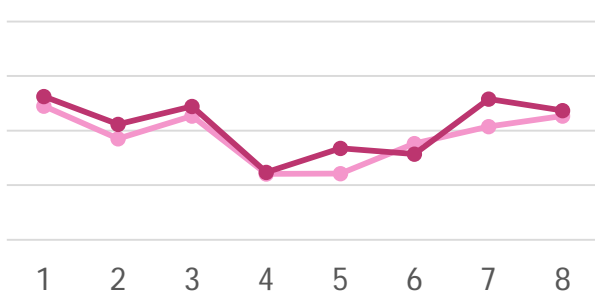
# b.理想の恋人、c.現実の恋人

## メイン志向と理想と現実の平均

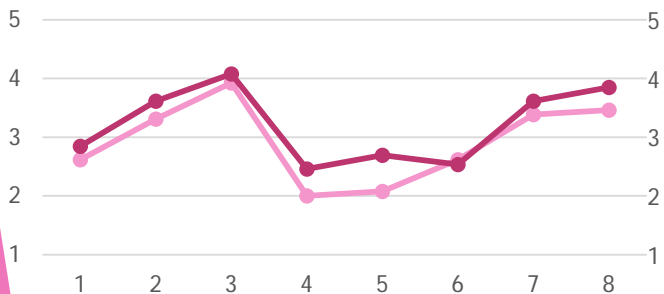
過去否定(54人)



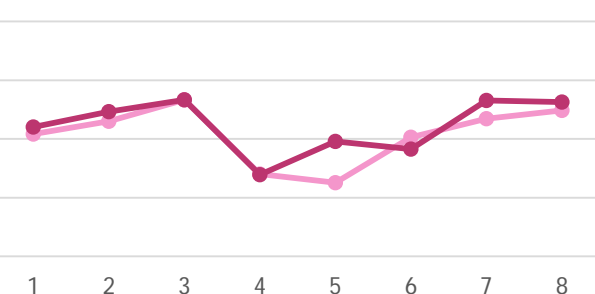
過去肯定(93人)



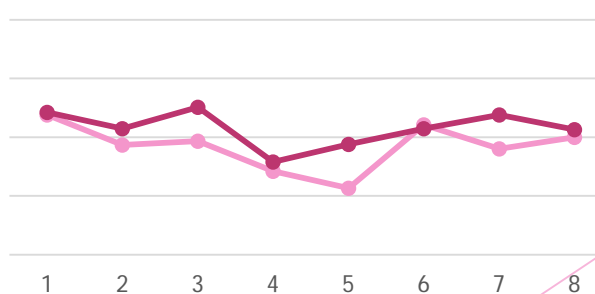
現在宿命(13人)



現在快樂(99人)



未来(76人)



### 横軸

- 1、見た目or中身
- 2、リードする人or自分に合わせてくれる人
- 3、時間に厳しいorルーズ
- 4、よく喋るor寡黙
- 5、価値観同じor違う
- 6、二人の時間重視or一人の時間
- 7、経済力重視orしない
- 8、学歴重視orしない

●理想  
●現実

・分析方法  
→相関分析

b.理想の恋人

	過去否定	現在快樂	未来	過去肯定	現在宿命
見た目 or 中身重視			中身		見た目
リードする or される					
時間に厳しい or ルーズ			厳しい		ルーズ
よく喋る or 寡黙					
価値観同じ or 違う					同じ
二人の時間重視 or 一人					
経済力重視 or しない			する		
学歴重視する or しない		しない	する		

c.現実の恋人

	過去否定	現在快樂	未来	過去肯定	現在宿命
見た目 or 中身重視					
リードする or される					
時間に厳しい or ルーズ			厳しい		ルーズ
よく喋る or 寡黙	寡黙			喋る	
価値観同じ or 違う	違う				
二人の時間重視 or 一人		二人		二人	
経済力重視 or しない					
学歴重視する or しない		しない	する		



## d.理想と現実の差

- ・分析方法  
相関分析
- ・結果

未来志向は差が大きい、過去肯定は差が小さい

→未来志向の人は現実に対する評価が厳しくなる、  
過去肯定の人は無意識に理想と現実の差を埋めている

## 4 結論

少なからずとも...

大学生の恋愛と時間志向は関係ある！！

恋愛は人生という贈り物の中心である  
by ジンバルド